

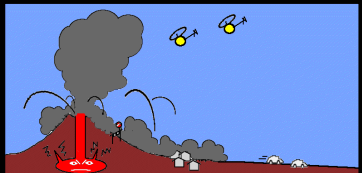
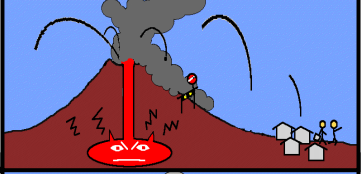
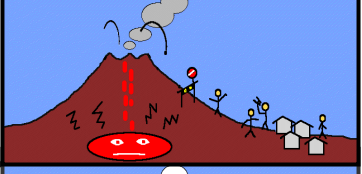

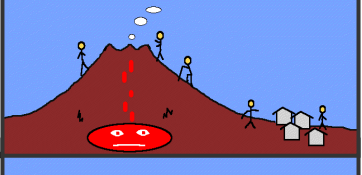

## 防災メモ

### 火山活動度レベル

火山監視・情報センターは各火山を常時監視し、火山活動の状況に応じて火山情報（緊急火山情報、臨時火山情報、火山観測情報）を公表しています。気象庁は火山活動の状況をより容易に理解できるよう、火山活動度レベルを数値で示す手法を検討してきました。火山活動度レベルを提供する準備が整った、浅間山、伊豆大島、阿蘇山、雲仙岳、桜島の5火山について、平成15年11月4日より提供を実施しています。この火山活動度レベルは、気象庁ホームページに常時掲載するとともに、火山情報に付加して提供します。

火山活動度レベルは、火山活動の程度と防災対応の必要性を0～5の6段階の数値で表すもので、各々の火山や噴火の形態を考慮し、各火山の火山活動度レベルを定めています。

なお、上記の5火山以外の火山についても、個々の火山活動や防災対応の特徴に応じた火山活動度レベルの導入を、順次進めていく予定です。東北地方は、常時観測を実施している吾妻山、安達太良山、磐梯山及び火山機動観測により監視を実施している岩手山等を対象として、火山活動レベル提供を検討しています

|  |   |
|--|---|
| <p><b>5:極めて大規模な噴火活動等</b><br/>広域で警戒が必要。</p>                 |    |
| <p><b>4:中～大規模噴火活動等</b><br/>火口から離れた地域にも影響の可能性があり、警戒が必要。</p> |   |
| <p><b>3:小～中規模噴火活動等。</b><br/>火山活動に十分注意する必要がある。</p>          |  |
| <p><b>2:やや活発な火山活動。</b><br/>火山活動の状態を見守っていく必要がある。</p>        |  |
| <p><b>1:静穏な火山活動。</b><br/>噴火の兆候はない。</p>                     |  |
| <p><b>0:長期間</b><br/>火山の活動の兆候がない。</p>                       |  |